

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/係	室・部	産業観光部	課	商工観光課	係	観光振興係
担当者		沼田 諒	直通	25-5034	内線	3115

①整理番号	章	6	節	3	具体的施策No. 施策名				②17. 観光「電岡」のPR ②20. メディアの活用の充実						
②事業No.事業名		278.283.情報発信事業					事業実施 期 間		R3 ~ R7						
③新規・継続		継続		④事業区分		単独		国補助率				府補助率			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)															

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

<p>亀岡の新たな魅力づくりを進めるとともに、一般社団法人亀岡市観光協会や三大観光及び京都かめおか観光PR大使と連携し、SNS等の多様なメディアの活用により、京阪神・中部圏等への観光キャンペーン及び観光PRの実施を促進します。</p>

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組		事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	web広告(ディスプレイ広告、SNS広告等)の表示回数	500,000
	実績	web広告(ディスプレイ広告、SNS広告等)の表示回数	703,054
		達成度	100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)	20 %
R4	計画	web広告(ディスプレイ広告、SNS広告等)の表示回数	500,000
	実績	web広告(ディスプレイ広告、SNS広告等)の表示回数	501,677
		達成度	100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)	40 %
R5	計画	web広告(ディスプレイ広告、SNS広告等)の表示回数	500,000
	実績	web広告(ディスプレイ広告、SNS広告等)の表示回数	357,606
		達成度	53 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)	52 %
R6	計画	web広告(ディスプレイ広告、SNS広告等)の表示回数	500,000
	実績	web広告(ディスプレイ広告、SNS広告等)の表示回数	837,386
		達成度	31 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)	58 %
R7	計画	web広告(ディスプレイ広告、SNS広告等)の表示回数	
	実績		
		達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)	%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	<p>観光イベントや京都・亀岡観光PR大使が出演するイベントなどのweb広告の打ち出し回数を指標とする。 (カウント方法:広告インスペクタの活用) 観光PR大使による情報発信は随時行う。</p>
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		①観光入込客数 ②観光消費額	①2,400,000人 ②70億円
R3	実績	①観光入込客数 ②観光消費額	①1,590,905人 ②48億円
R4	実績	①観光入込客数 ②観光消費額	①2,326,370 ②63.7億円
R5	実績	①観光入込客数 ②観光消費額	①2,773,307人 ②70.3億円
R6	実績	①観光入込客数 ②観光消費額	①3,149,612人 ②79.8億円
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	観光入込客数、観光消費額を指標とします。
-----------------------	----------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R5) R4に引き続き観光PR大使にイベント情報を提供し広報協力を呼びかけたほか、市内のイベントに参加いただき連携を図った。 (R4) 観光PR大使に随時チラシやポスターを活用したイベントPR等を依頼するほか、イベントに招待し体験していただくなど、連携を図るよう努めた。
進行上の課題や問題点	(R4) より効果的な各種広報媒体の活用や、観光PR大使と連携したPR方法を検討する必要がある。
変更した理由	(R3) 観光産業は、新型コロナウイルスの影響を最も受けた産業の1つであり、本市においても観光入込客数及び観光消費額ともに大きく落ち込みをい見せた。今後、しばらくの間は、新型コロナウイルスと向き合いながらの対応にならざるを得ず、一気にV字回復を見込むことは現実的に厳しいところである。そのため、令和2年度をベースとして、令和7年度にはその50%増を成果指標として採用するものである。
その他	